

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	良好な都市空間の形成									
計画の期間	平成21年度 ～ 平成24年度			交付対象	静岡県、湖西市、吉田町、函南町					
計画の目標	交通・人口が集中する用途地域内における都市計画道路網の整備により、渋滞解消を図り円滑な都市交通を実現するとともに快適で安心な都市空間の形成を図る。									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民1人当たりの渋滞損失時間を35.8時間 (H21) から32.9時間 (H24) に短縮する。</li> <li>・用途地域内の都市計画道路整備率を56.9% (H21) から60.3% (H24) に向上する。</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H 末)		最終目標値 (H24末)	
① 県民1人当たりの渋滞損失時間 (渋滞損失時間) = { (現状の旅行時間) - (改良後の旅行時間) } × (交通量) × (平均乗車人員) × 365 / (県人口)						35.8時間		32.9時間		
② 用途地域内の都市計画道路整備率 (用途地域内の都市計画道路整備率) = (用途地域内の都市計画道路整備済み延長) / (用途地域内の都市計画決定延長)						56.9%	—	60.3%		
③										
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,919 百万円	A	4,859 百万円	B	4 百万円	C	56 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	1%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ									
第2期 (H20～H24)					第3期 (H25～H29)				
分野名	活力・交流				分野名				
目標名	都市・地域交通の快適性、利便性の向上				目標名				
指標名	県民1人当たりの渋滞損失時間	目標値 (H28)	30時間	指標名		目標値 (H29)			

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -:その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業										事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H21	H22	H23	H24			
1-A5	街路	一般	静岡県	直接		S街路	改築	(都) 三枚橋岡宮線	現道拡幅 L=0.84km	沼津市					100	○	
1-A10	街路	一般	静岡県	直接		S街路	改築	(都) 野中棒杭線	現道拡幅 L=0.24km	富士宮市					1,739	△	H27
1-A12	街路	一般	静岡県	直接		S街路	改築	(都) 焼津広幡線	現道拡幅 L=0.72km	藤枝市					534	△	H25
1-A13	街路	一般	静岡県	直接		S街路	改築	(都) 榛南幹線(山八工区)	バイパス L=0.96km	吉田町					288	○	
1-A16	街路	一般	静岡県	直接		S街路	改築	(都) 下俣二瀬川線 (二瀬川2工区)	現道拡幅 L=0.12km	掛川市					144	○	
1-A17	街路	一般	静岡県	直接		S街路	改築	(都) 田端掛之上線	現道拡幅 L=0.16km	袋井市					68	○	
1-A19	街路	一般	静岡県	直接		S街路	改築	(都) 新所原岡崎線	現道拡幅 L=0.43km	湖西市					74	○	
1-A21	街路	一般	静岡県	直接		S街路	改築	(都) 南上ノ原梅田線	バイパス L=0.46km	湖西市					640	○	
1-A22	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(主) 三島裾野線 平松	バイパス L=0.65km	裾野市					512	○	
1-A29	街路	一般	静岡県	間接	浜田土地区画 整理組合	区画	改築	浜田地区 ( (都) 榛南幹線外)	区画整理 A=37.1ha	吉田町					397	△	H28
1-A30	街路	一般	吉田町	直接		S街路	改築	(都) 榛南幹線 (新田工区)	バイパス L=0.46km	吉田町					263	△	H25
1-A31	街路	一般	函南町	直接		S街路	改築	(都) 八ツ溝仁田線	現道拡幅 L=0.18km	函南町					100	○	
合計															4,859		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H21	H22	H23	H24				
1-B1	公安施設	一般	静岡県	直接		公安	信号機・道路標識設置事業	信号機・道路標識の設置	湖西市他						4	○	
合計													4				

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H21	H22	H23	H24				
1-C1	計画・調査	一般	静岡県	直接		モビリティ・マネジメント	モビリティ・マネジメント計画策定	(都) 椋南幹線他3路線の整備効果促進調査	牧之原市他						19	○	
1-C2	計画・調査	一般	静岡県	直接		モビリティ・マネジメント	モビリティ・マネジメント計画策定	(都) 下俣二瀬川線他1路線の整備効果促進調査	掛川市他						19	○	
1-C3	計画・調査	一般	静岡県	直接		モビリティ・マネジメント	モビリティ・マネジメント計画策定	整備効果促進調査	熱海市他						18	○	
合計													56				

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C1	(都) 椋南幹線他4路線(1-A13~15・29~30)の整備効果促進調査を実施し、公共交通の利便性の向上を図るための計画やモビリティ・マネジメントを策定及び実施することにより当該区間の整備効果の向上を図る。															
1-C2	(都) 下俣二瀬川線他1路線(1-A16~17)の整備効果促進調査を実施し、公共交通の利便性の向上を図るための計画やモビリティ・マネジメントを策定及び実施することにより当該区間の整備効果の向上を図る。															
1-C3	伊豆東都市圏の整備効果促進調査を実施し、公共交通の利便性の向上を図るための計画やモビリティ・マネジメントを策定及び実施することにより当該区間の整備効果の向上を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

その他関連する事業															
計画等の名称 37 良好な都市空間の形成(防災・安全)															
事業種別	地域種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)				市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
1-A'9	街路	静岡県	(都) 本市場大洲線(伝法工区)				富士市						1,051	△	H32

計画等の名称 30 快適にヒト・モノが行き交う“ふじのくに”のみちづくり(社会資本整備総合交付金)															
事業種別	地域種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)				市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
1-A'23	道路	静岡県	(主) 三島裾野線 中土狩				長泉町						409	△	H27
1-A'24	道路	静岡県	(主) 大岡元長窪下長窪				長泉町						45	△	H30
1-A'25	道路	静岡県	(一) 富士停車場 香西新田				富士市						260	△	H30代
1-A'26	道路	静岡県	(主) 焼津森線 下当間				藤枝市						1,578	△	H28
1-A'27	道路	静岡県	(主) 焼津森原線 川尻~住吉				吉田町						815	△	H25
1-A'28	道路	静岡県	(一) 磐田掛川線 二之宮				磐田市						897	△	H26

事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H21	H22	H23	H24				
A'	1-A2	一般	静岡県	直接	S街路	改築	0.55	(都) 沼津三島線	バイパス L=0.76km	長泉町						1,351	△	H28
	1-A4	一般	静岡県	直接	S街路	改築	0.55	(都) 西間門新谷線(4工区)	現道拡幅 L=0.40km	清水町						361	△	H28
	1-A7	一般	静岡県	直接	S街路	改築	0.55	(都) 金岡浮島線	バイパス L=0.57km	沼津市						210	△	H28
	1-A15	一般	静岡県	直接	S街路	改築	0.55	(都) 池新田中央線	現道拡幅 L=0.58km	御前崎市						176	△	H30
	1-A20	一般	静岡県	直接	S街路	改築	0.55	(都) 新所原岡崎線(2工区)	現道拡幅 L=0.13km	湖西市						75	△	H32
	1-A1	一般	静岡県	直接	S街路	改築	0.55	(都) 谷田幸原線(幸原工区)	バイパス L=0.30km	三島市						330	△	H29
	1-A3	一般	静岡県	直接	S街路	改築	0.55	(都) 池田終線(下長窪工区)	バイパス L=0.70km	長泉町						1,388	△	H32
	1-A11	一般	静岡県	直接	S街路	改築	0.55	(都) 志太中央幹線	バイパス L=0.40km	藤枝市						100	△	H30
合計													3,991					

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業  
【H24】 GのNo. 97~98、207、209~213、 【H23】 GのNo. 172~176  
(別添「事業実施計画」参照)

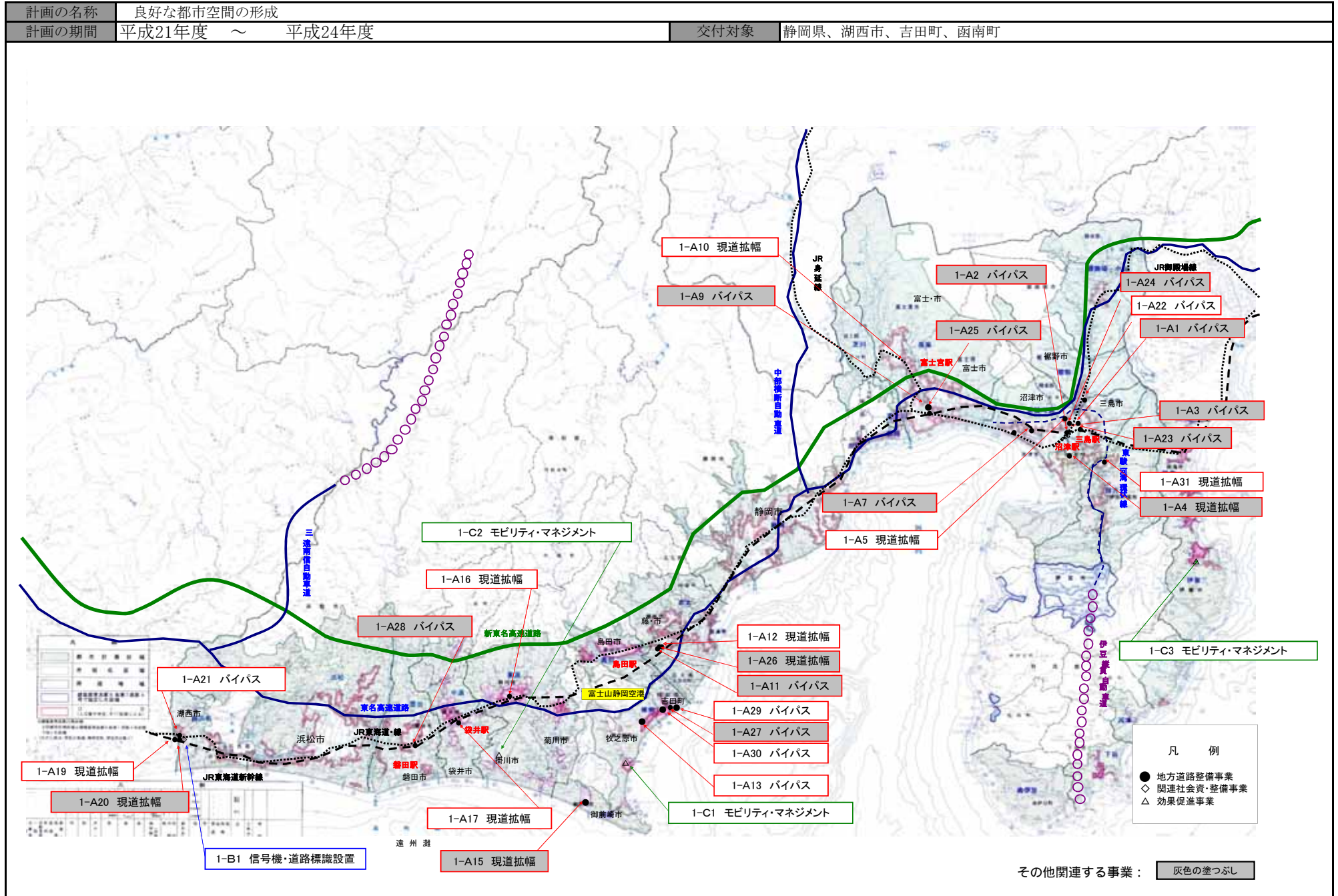
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・（都）南上ノ原梅田線（湖西市新所原）や（主）三島裾野線（裾野市平松）等の道路整備により、鉄道との交差箇所等の渋滞個所の円滑な通行が可能となり、結果として、県内の様々な要因による渋滞が以前に比べ削減された。</li> <li>・交通・人口が集中する用途地域内の都市計画道路網の整備により、計画期間内に都市計画道路の整備率が3.4%上昇し、結果として、都市における円滑な交通確保につながった。</li> </ul>			
定量的指標の達成状況	指標①（県民1人当たりの渋滞損失時間）	最終目標値	32.9 時間	目標値と実績値に差が出た 要因	指標値は、国の公表値を使用することとしていたが、計画期間中、国が数値を未公表とすることとしたため、実績値は不明。 （参考に、県で独自に実績に相当する値を算出したところ、目標値を超える32.4時間となった）
		最終実績値	- 時間		
	指標②（用途区域内の都市計画道路整備率）	最終目標値	60.3%	目標値と実績値に差が出た 要因	計画的に用途地域内の都市計画道路整備を行うことで、目標を達成した。
		最終実績値	61.0%		
	指標③（ ）	最終目標値		目標値と実績値に差が出た 要因	
		最終実績値			
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道と立体交差する（都）南上ノ原梅田線（湖西市新所原）や（主）三島裾野線（裾野市平松）の道路整備により、歩車道が分離されたことで、自動車、歩行者ともに安全な通行が可能となった。</li> <li>・効果促進事業による計画策定とその後の地域のニーズに応じた効率的な公共交通サービスの導入により、公共交通の利便性の向上が図られ、都市計画道路網の整備と併せて、円滑な都市交通が確保された。</li> </ul>			

3. 特記事項（今後の方針等）

計画期間終了後も、各種交付金を活用して対策を推進している。今後も、交通・人口が集中する用途地域内における都市計画道路網の整備を行い、渋滞解消を図り円滑な都市交通を実現するとともに快適で安心な都市空間の形成を図る。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

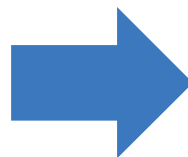


# 事業効果の発現状況(例)

## 基幹事業(街路事業)

狭隘な踏切により南北の交通に支障があった湖西市新所原地区において、鉄道と立体交差する道路を整備したことにより、踏切待ちを原因とする交通渋滞を解消し、都市交通の円滑化を図りました。

(都)南上ノ原梅田線(湖西市新所原)



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

# 事業効果の発現状況(例)

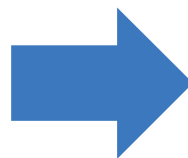
## 基幹事業(道路事業)

慢性的な渋滞が発生していたJR御殿場線の踏切において、鉄道と立体交差するバイパスを整備することにより、渋滞解消を図り都市交通の円滑化を図りました。

(主)三島裾野線(裾野市平松)



現道



バイパス

# 事業効果の発現状況(例)

## 効果促進事業(モビリティ・マネジメント計画策定)

地域のニーズに応じた効率的な公共交通サービスの導入により、公共交通の利便性の向上が図られ、都市計画道路網の整備と併せて、円滑な都市交通が確保されました。

(例)

### ○デマンド型乗合タクシーの導入

掛川市

(和田岡地区、曾我地区、大須賀地区)

### ○新規バス路線の導入

掛川市

(掛川地区から新病院)



いっしょに、未来の地域づくり。New